

令和6年度 事業報告書

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月 31日

特定非営利活動法人 地球学校

I. 総括

地球学校はNPOになって24年目の年でした。ミーティングやレッスンはオンラインが日常ながら、対面の良さを活かした地球っ子教室やKANJIカフェ、イベントや交流も開催しています。本年度の特筆すべきことは各事業部のリーダーの交代です。日本語教室も地球っ子教室も新しいリーダーとともに動き出しました。活動資金となる助成は得なかったものの、かながわボランティア活動推進基金21の令和6年度ボランティア活動奨励賞を授与され副賞金をいただきました。

日本語教室では、プライベートレッスンはオンラインが主流でしたが、チームティーチングの対面による企業レッスンも行いました。個人の対面レッスンでは、短期レッスンやオンラインと対面の複合的なスタイルも始まりました。また漢字自立学習の場のKANJIカフェも毎週土曜日に対面で行いました。年2回開催した交流イベント「にほんご×しゃべりば」も、7月・1月ともに対面で開催しました。また日本語講師のための勉強会をほぼ毎月開催し、各自の学びとともに講師間の交流の場にもなっています。環境作りとしては、日本語教室のルールを見直し情報の可視化を積極的に進めました。レッスン報告やスタッフの事務作業など、クラウドの活用が日常になり、データ管理やセキュリティ強化が進みました。横浜刑務所内での外国人受刑者への日本語教室も継続中です。

地球っ子教室では21年目を迎え新しい担当理事とスタッフでの体制が始まりました。引き続き前年度より多くの子どもたちが参加しました。特に夏休み教室以降は新規の申し込み者が増え、土曜教室ではグループ学習が常態化しました。夏休み教室は5日間、春休み教室は2日間、対面とオンラインで開催しました。イベント「漢字王決定戦」は年2回、対面のみで開催しました。保護者向けに教室の様子を伝える「もぐらん通信」(中国語翻訳付)も引き続き毎月発行しています。支援者情報交換会も3回実施しました。「もぐらんワーク」の教材を公開し、地球っ子教室のオンライン・対面教室のほか、小学校の国際教室、地域の支援教室でも使われました。

多文化交流事業は、本年度も「かながわ市民活動フェア」に参加しました。開催は、会場対面型フェアのみに戻り、かながわ県民センター1階で参加者と交流しました。12月の寄付月間では、今年度も日本大通実行委員会に参加し、リニューアルオープンした神奈川県住宅供給公社の1階で2年ぶりにメインイベントを開催しました。地球学校としてはオンラインで5回目となるゲーム漢字王決定戦を開催しました。NPO内部の毎月の交流会は、オンライン開催を軸としつつ、総会時のランチ交流会に加えて、新年会を5年ぶりに対面で開催しました。

このような事業活動をした当期の経常収支は少し黒字となりました。これは、既出の表彰による副賞金を得たことほか、引当金を戻し入れたこと、保留になっていた案件を処理したことによります。また、地道に積み重ねてきたファンレイジングの成果とともに、OSUSO(オスソ)などの新しい寄付の仕組みに参加したことは今後につながりそうです。本年度も社会の変化に柔軟に対応し、外部とのつながりを大切にしつつ、地球学校らしく人を軸に活動した一年でした。

Ⅱ．事業の成果

日本語教室では、今年度の登録数は 80 名、15 の国と地域の学習者が日本語を学びました。新規学習者は 24 名、法人向けレッスンは 2 組 8 名でした。1 年間の総学習時間数は約 1590.5 時間と前年度より増加し対面レッスンの要望も増えています。日本語講師の登録は 33 名、うち新規登録の 4 名を含む 28 名がレッスンを担当しています。日本語講師対象の勉強会は、定例ミーティング後の交流会と日本語教室単独開催を併せて計 13 回行いました。日本語能力試験(JLPT)は 7 月・12 月の 2 回実施され、延べ 14 名が受験し合格者は 6 名でした。イベント「にほんご×しゃべりば」は計 2 回、参加者は延べ 17 名でした。7 月 21 日に県民センターで「世界のなぞなぞ大会」を、翌年 1 月 26 日に県民センター内の KANAFAN STATION をお借りして「書き初め大会」を開催し、短期滞在の姉弟（オーストラリア在住）をはじめ、地球っ子から親子での参加もありました。

地球っ子教室では、土曜教室は 4 月 13 日から 3 月 8 日まで計 35 回、対面とオンラインで同時開催しました。時間帯は、対面教室は 13:15～14:30、オンライン教室は 13:30～14:30 です。夏休み教室は 7 月と 8 月合わせて 5 日間、春休み教室は 3 月に 2 日間、開催しました。年間の子どもの登録数は 56 名で、小学生 44 名・中学生 12 名でした。子どもたちがつながる国は、多い順に中国・カナダ・イギリス・スペイン・台湾・日本・ネパール・フィリピン・韓国・オランダですが、複数のルーツを持つ子どももいます。教室の延べ参加人数は、子どもは 1084 名（前年比 1.14 倍）、支援者は 712 名（前年比 1.12 倍）でした。支援者の登録数は 48 名で、うち 21 名が新規でした。社会人 39 名、大学生 3 名、高校生 6 名です。教室活動としての内部イベント「漢字王決定戦」は計 2 回、10 月（参加 29 名）と 3 月（参加 24 名）の土曜教室の時間内で、対面形式のみで開催しました。

多文化交流事業では、12 月の寄付月間にオンラインでイベント「漢字王決定戦」を開催しました。参加者は計 16 名で、海外からはタイ、グアテマラ、USA からの参加がありました。恒例の「かながわ市民活動フェア」は、活動拠点でもあるかながわ県民センターで開催され、11 月 17 日（日）の地球学校のブースには 13 名の参加がありました。地球学校主催の定例会、会員交流会は、対面とオンラインを併用し、延べ 192 名が参加しました。中でも、5 月の総会后ランチ交流会（対面 11 名）、6 月の事業部別交流会（対面 10 名・オンライン 13 名）、1 月の新年交流会（オンライン 7 名・対面 21 名、新年会 21 名）でした。

Ⅲ 事業内容

1. 日本語教室に関する事業

- ・ 内容 日本語上達を希望する学習者への日本語指導、日本語学習支援
- ・ 日時 通年 1590.5 時間
- ・ 場所 かながわ県民センター、地球市民かながわプラザ、オンライン
- ・ 従事者人員 日本語教師資格を有する正会員 33 名
- ・ 受益対象者 日本語学習を希望する母語が日本語ではない学習者 80 名
- ・ 支出額 2,501,724 円

2. 地球っ子教室に関する事業（外国人児童・生徒への支援）

- ・ 内容 外国につながる子どもたちの学びを支える教室の開催
- ・ 日時 通年の土曜教室（35 回）・夏休み教室（5 日間）・春休み教室（2 日間）
漢字王決定戦（2 回）、支援者情報交換会（対面 2 回 オンライン 1 回）
- ・ 場所 かながわ県民センター、オンライン
- ・ 従事者人員 会員・支援者（一般・大学生・高校生） 延べ 712 名
- ・ 受益対象者 外国人児童・生徒 延べ 1,084 名
- ・ 支出額 946,552 円

3. 多文化交流にする事業

- ・ 内容 寄付月間イベント、市民活動フェア、会員交流会ほか
- ・ 日時 通年 全 14 回
- ・ 場所 かながわ県民センター、オンライン
- ・ 従事者人員 担当スタッフ 7 名
- ・ 受益対象者 会員、各教室の学習者・子ども、日本在住外国人、日本人 延べ 267 名
- ・ 支出額 5,010 円